

私たちの暮らす「まち」を、地域福祉で変えよう！

従来の家族や地域のつながりが希薄化しており、孤独死や虐待、引きこもりなど、複雑化・多様化する社会問題が顕在化し、公的な福祉サービスだけでは、福祉課題の解決は困難となっています。そのため、地域の中でのつながりを再構築し、住民同士の支え合いが必要不可欠です。

市社協では、子どもから高齢者まで年齢や障がいのあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らし続けられるように、住民と共に地域福祉活動を高めるための「第5次地域福祉活動計画」(期間:令和9年度~令和13年度)を令和8年度に策定します。

地域福祉活動計画とは？

誰もが安心して生活できる地域をつくるために、市社協が事務局となり、住民と共に関係団体、専門機関、行政などと協力して地域福祉を推進する行動計画です。

第5次活動計画に向けて始動

市社協では、第5次活動計画の策定に向けて、2月~3月、職員学習会を行いました。学習会では、活動計画の目的や計画づくりのプロセスなど、職員間の共通理解と合意形成を図り、第4次活動計画をふりかえりながら職員が捉える地域課題について話し合いをしました。

引き続き、地域課題の整理や抽出作業を行い、それを基に、活動計画の方向性を検討します。

職員間で共有した地域課題(一部)

- 身寄りのない高齢者が増え、将来に不安を感じる人が、どこに相談すればよいか分からない人が増えている。
- 福祉に興味関心を持っている人を、地域の福祉活動へ繋げられていない。
- 世代を超えた出会いの機会があまりない。



▲職員学習会の様子

4月からは、活動者や住民の声を活動計画に反映するために、ヒアリングや懇談会を開催します。地区社協はじめ、福祉活動者やボランティア、当事者の方々から、感じている課題や今後の地域福祉活動への取り組み等もお伺いします。

また、市社協が事務局となり、活動計画策定委員会を設置します。策定委員には、住民や地域の福祉団体、ボランティア・NPO団体など様々な団体の代表者の方々を委嘱し、活動計画の柱と取り組み等、話し合いを重ね、10月末までに計画案をまとめていきます。

11月中旬には、活動計画(案)に対する意見をSNSで募集しますので、ぜひご意見をお寄せください。

現在、どんな取り組みをしているの？

第4次活動計画では、地域福祉活動をより強化するために、「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」の3つの目標と9つの柱を定め、18の取り組みを進めています。

詳しくはこちら



取り組み

9

世代を超えた交流

ろう者やボランティアと交流▶
(木田地区福祉まつり&健康フェス)



皆さんの声をお聞かせください

日々の暮らしの中で感じていること、「こんな地域になったらいいな」という想いなど、どのようなことでも構いません。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。お寄せいただいたご意見は、今後の地域福祉活動計画策定の貴重な資料として活用させていただきます。

募集内容 ・地域で困っていること、不安に感じていること
・あったら良いと思う支え合いの仕組みや活動
・これからの地域づくりに必要だと思うこと など

応募方法 4月17日(金)までに所定の用紙、はがき、FAX、メール等でお寄せください。
※詳しくは、市社協 地域福祉課
0776-26-1853へ

詳しくはこちら

